

がんリハビリテーション

◆ がんについて

最近では、芸能人ががんを発症したというニュースもしばしば聞かれますが、がん罹患者数は年々増加しており、年間 100 万人を突破しました。また、がん生存率は多くの部位で上昇傾向にあり、いまやがん患者の半数以上が治るようになってきています。全国には 500 万人以上のがん生存者がいると予想されており、“不治の病”というイメージの強いがんですが、“がんと共存”する時代に変化しているのです。

◆ がんリハビリテーションについて

当院でも、がんによる直接的影響や、手術や化学療法・放射線治療などの副作用によって障害をきたした患者様に対してリハビリテーションを行う機会が増えてきました。そこで、がん患者様により質の高いリハビリテーションを提供できるように、当院の医師 1 名、看護師 1 名、理学療法士 1 名、作業療法士 2 名が「がんリハビリテーション」の研修を修了し、チームとして対応できる体制を整えました。

がんリハビリテーションは、がんと診断されて入院している患者様を対象としています。術前から術後、化学療法・放射線治療中など、様々な時期で行われ、多くの効果が期待できます。

◆ がんリハビリテーションにより期待できる効果

- ・ 術後早期に離床することで合併症を予防できる
- ・ 身体を動かしたり、リハビリスタッフとコミュニケーションを取ることで、精神・心理面が改善される
- ・ 化学療法・放射線治療などによる倦怠感を軽減させる
- ・ 安静による廃用症候群のため低下した筋力や体力が改善される
- ・ 術後の創部の痛みなどを考慮した身体の動かし方を練習することで、早期に自宅へ帰ることができる

など

がんリハビリテーションをするにあたっては、医師・看護師・リハビリスタッフ等、患者様に関わる全ての医療スタッフが情報共有を密に行い、全身状態や心理面など様々なことに注意を払いながら、患者様やご家族の気持ちを尊重して進めていきます。